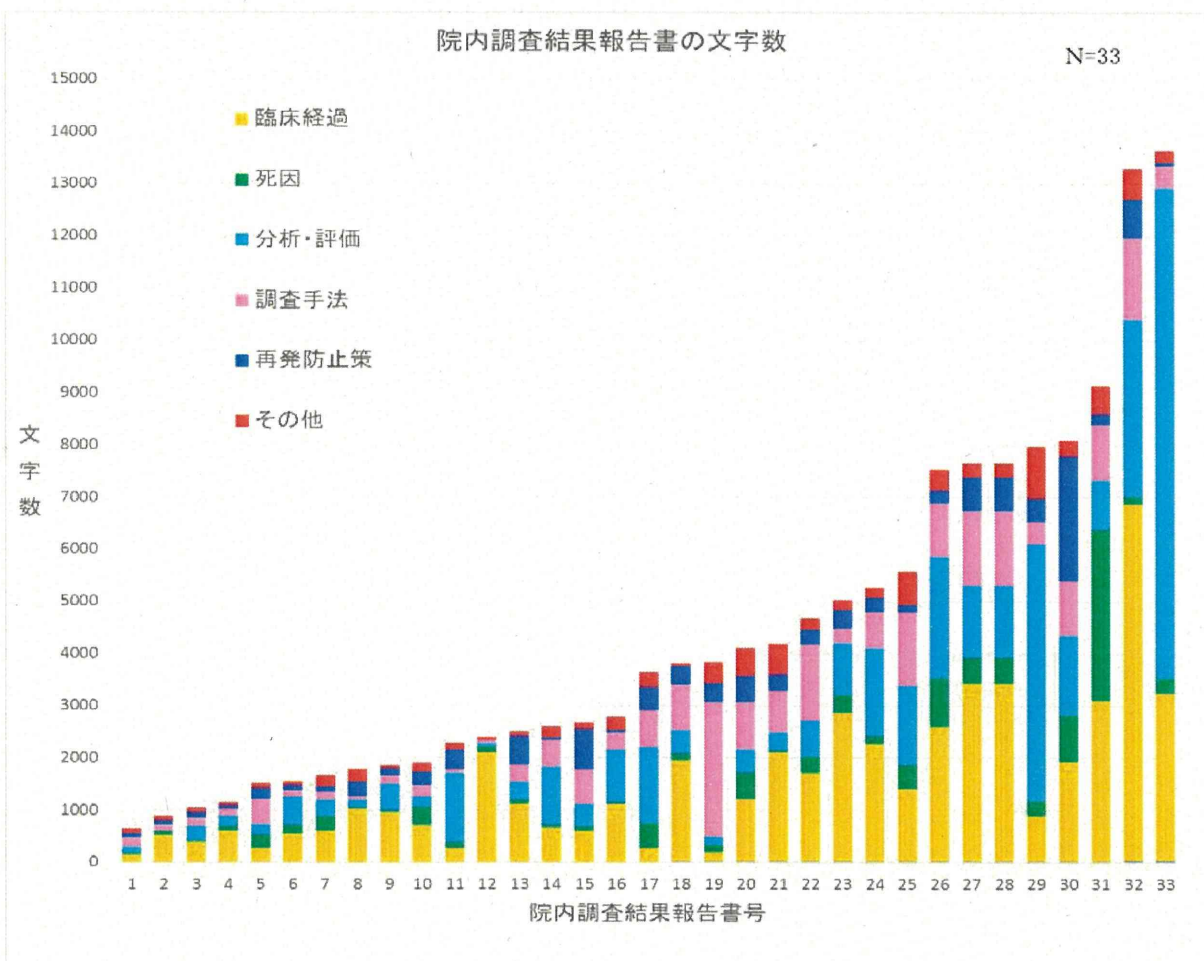


## 2-2-③院内調査結果報告書の記載項目数と内容別文字数(平均、最大、最小、標準偏差)

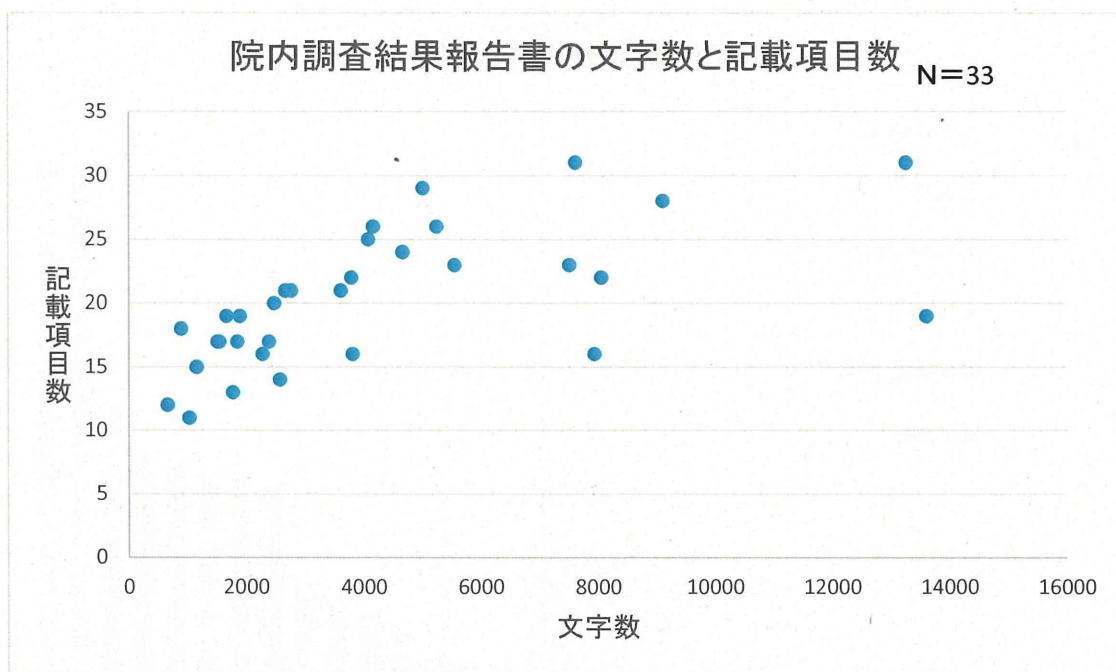
番号	記載項目数	文字数							400字詰め原稿用紙(枚数)	添付文書
		臨床経過	死因	分析・評価	調査手法	再発防止策	その他	合計		
1	12	155	28	107	186	92	90	658	1.6	無
2	18	524	70	0	133	82	81	890	2.2	無
3	11	395	26	274	155	119	63	1032	2.6	無
4	15	613	78	204	132	67	63	1157	2.9	無
5	17	278	238	206	503	201	88	1514	3.8	有
6	17	549	162	534	137	99	63	1544	3.9	無
7	19	611	259	323	152	107	209	1661	4.2	無
8	13	1025	25	139	76	272	237	1774	4.4	無
9	17	956	34	505	163	130	64	1852	4.6	無
10	19	706	355	190	226	246	169	1892	4.7	無
11	16	254	115	1338	54	384	134	2279	5.4	無
12	17	2091	107	72	58	0	65	2393	6.0	無
13	20	1116	54	362	332	554	63	2481	6.2	無
14	14	658	33	1127	512	53	198	2581	6.5	有
15	21	581	93	419	660	796	121	2670	6.7	無
16	21	1099	44	1004	317	57	250	2771	6.9	無
17	21	247	478	1461	695	457	276	3614	9.0	無
18	22	1942	131	434	897	332	63	3799	9.5	有
19	16	179	127	175	2567	368	402	3818	9.5	有
20	25	1209	482	452	916	497	530	4086	10.2	無
21	26	2089	28	352	802	313	582	4166	10.4	無
22	24	1686	307	704	1457	292	227	4673	11.7	有
23	29	2846	339	996	289	356	189	5015	12.5	無
24	26	2241	159	1684	696	275	197	5252	13.1	有
25	23	1392	433	1538	1408	141	642	5554	13.9	無
26	23	2577	930	2327	1039	240	401	7514	18.8	有
27	31	3399	495	1386	1446	646	249	7621	19.1	無
28	31	3399	495	1386	1446	646	249	7621	19.1	無
29	16	865	282	4947	422	440	990	7946	19.9	無
30	22	1904	885	1523	1062	2397	290	8061	20.2	有
31	28	3076	3276	942	1071	205	543	9113	22.8	無
32	31	6850	123	3393	1579	749	569	13263	33.2	有
33	19	3210	284	9397	428	79	211	13609	34.0	有
合計	680	50722	10975	39901	22016	11692	8568	143874	359.3	
平均値	20.6	1537.0	332.6	1209.1	667.2	354.3	259.6	4359.8	10.9	
最大値	31	6850	3276	9397	2567	2397	990	13609	34.0	
最小値	11	155	25	0	54	0	63	658	1.6	
標準偏差	5.5	1393.6	576.7	1795.2	589.5	423.8	216.3	3349.1	8.4	

※この集計は、2016年2月末までの報告に基づく内容を示したものです。

※添付資料は、解剖・AI報告書、業務マニュアル(改定前後)、診療録の複写、分析資料(なぜなぜ分析図、職員配置図、内服・注射時系列投与量一覧表)などを含む。





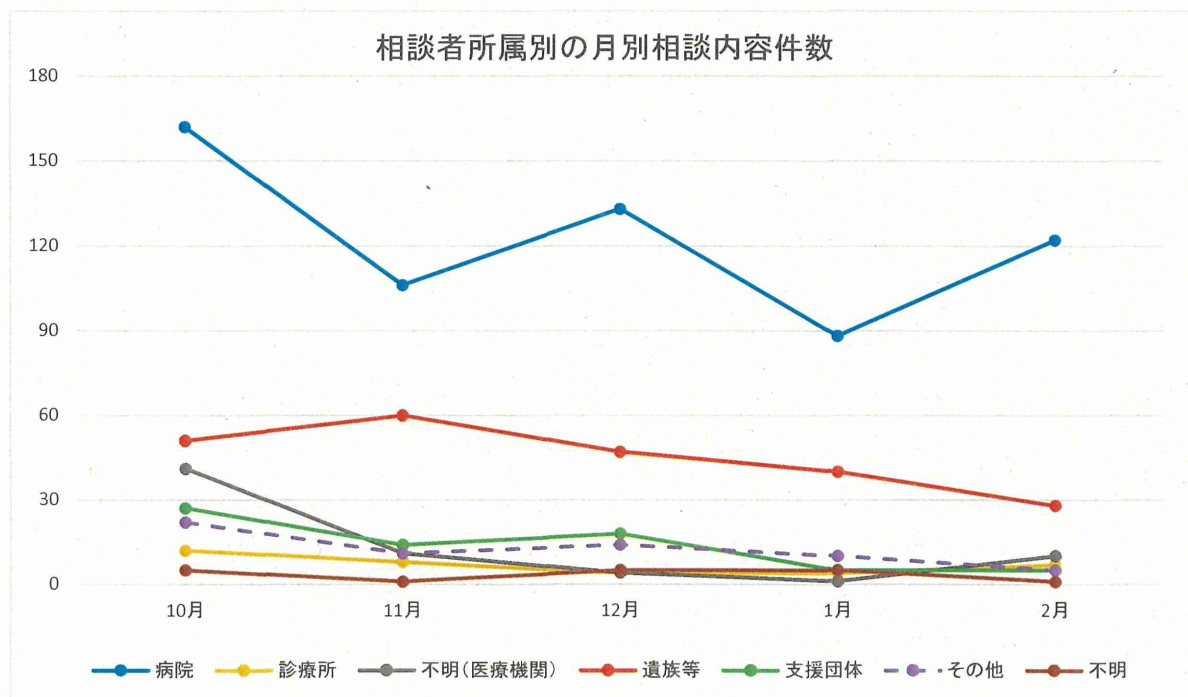


【3】相談による支援内容

1-①相談者所属別の月別相談内容件数

相談者所属		平成27年			平成28年		合計	割合 (%)
		10月	11月	12月	1月	2月		
医療機関	病院	162	106	133	88	122	611	56.2
	診療所	12	8	4	4	7	35	3.2
	助産所	0	0	0	0	0	0	0.0
	不明	41	11	4	1	10	67	6.2
遺族等		51	60	47	40	28	226	20.8
支援団体		27	14	18	5	5	69	6.3
その他		22	11	14	10	5	62	5.7
不明		5	1	5	5	1	17	1.6
合計		320	211	225	153	178	1087	100.0
【参考】月別対応件数		250	160	187	132	142	871	

※この集計は、2016年2月末までの相談内容を項目別に集計したもの。  
 ※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に「直接面談」・「文書」などが数件含まれる。  
 ※1回の対応で複数の相談内容がある場合は、それぞれ集計している。  
 ※その他は「行政」、「弁護士」、「報道機関」、「警察」、「介護施設」、「保険会社」などが含まれる。





## 1-②医療機関・支援団体等における相談内容の月別件数

項番	相談内容・問い合わせ	平成27年			平成28年		合計	小計
		10月	11月	12月	1月	2月		
1 医療事故報告対象の判断	判断・具体的事例あり	27	19	25	18	28	117	205 23.8%
	判断・具体的事例なし	36	14	11	9	3	73	
	その他	10	1	2	1	1	15	
2 相談・報告の手続き	相談	12	4	3	0	3	22	257 29.8%
	遺族への説明	8	4	4	4	11	31	
	報告	37	31	59	29	39	195	
	その他	1	1	1	2	4	9	
3 支援に関する情報提供・調整	初期対応について	19	4	2	2	1	28	82 9.5%
	院内事故調査に関する支援の全般について	20	8	6	4	2	40	
	その他	7	3	1	2	1	14	
4 院内事故調査に関する助言	解剖・Ai	20	9	5	4	8	46	208 24.2%
	委員の派遣	12	11	15	9	10	57	
	費用	6	5	4	1	3	19	
	報告書の記載について	2	7	2	8	6	25	
	死亡診断書について	2	0	1	1	1	5	
	その他	7	12	18	6	13	56	
5 センター調査に関すること	対象	8	3	1	3	2	17	39 4.5%
	費用	4	1	0	1	0	6	
	手続き	1	0	0	2	0	3	
	その他	7	2	2	0	2	13	
6 再発防止		0	0	0	0	0	0	0(0%)
7 その他		23	12	16	7	12	70	70(81%)
合計		269	151	178	113	150	861	861

※この集計は、2016年2月末までの相談内容を項目別に集計したものの。

※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に「直接面談」・「文書」などが数件含まれる。



## 1-③医療機関・支援団体等における相談内容の所属別件数

項番	相談内容・問い合わせ	相談者所属							合計	
		医療機関				支援団体	その他	不明		
		病院	診療所	助産所	不明					
1	医療事故報告対象の判断	判断・具体的事例あり	99	7	0	6	3	2	0	117
		判断・具体的事例なし	40	3	0	10	3	13	4	73
		その他	11	0	0	1	0	3	0	15
2	相談・報告の手続き	相談	12	0	0	3	3	3	1	22
		遺族への説明	22	2	0	4	2	1	0	31
		報告	158	12	0	13	7	4	1	195
		その他	6	0	0	0	0	3	0	9
3	支援に関する情報提供・調整	初期対応について	19	4	0	3	1	1	0	28
		院内事故調査に関する支援の全般について	24	1	0	6	6	3	0	40
		その他	5	0	0	1	8	0	0	14
4	院内事故調査に関する助言	解剖・Ai	34	2	0	3	7	0	0	46
		委員の派遣	47	0	0	4	5	1	0	57
		費用	16	0	0	0	0	3	0	19
		報告書の記載について	21	1	0	0	3	0	0	25
		死亡診断書について	4	0	0	1	0	0	0	5
		その他	51	1	0	1	3	0	0	56
5	センター調査に関すること	対象	9	1	0	2	1	2	2	17
		費用	5	0	0	0	0	1	0	6
		手続き	1	0	0	0	0	1	1	3
		その他	3	0	0	3	2	4	1	13
6	再発防止	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	その他	24	1	0	6	15	17	7	70	
合計		611	35	0	67	69	62	17	861	

※この集計は、2016年2月末までの相談内容を項目別に集計したもの。

※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に「直接面談」・「文書」などが数件含まれる。

※その他は「行政」、「弁護士」、「報道機関」、「警察」、「介護施設」、「保険会社」などが含まれる。

## 1-④遺族における相談内容の月別件数

項番	相談内容・問い合わせ	平成27年			平成28年		集計	小計
		10月	11月	12月	1月	2月		
1	医療事故報告対象の判断	43	29	31	19	16	138	140 61.9%
	その他	0	2	0	0	0	2	
2	医療事故調査に関する相談(報告済みの場合)	1	1	2	3	1	8	8 3.5%
3	院内事故調査に関する相談							9 4.0%
	解剖・Ai	0	2	1	0	0	3	
	委員	0	0	0	0	0	0	
	費用	0	0	0	0	0	0	
	報告書の記載について	0	0	0	0	0	0	
	死亡診断書について	0	0	0	0	0	0	
その他	2	2	0	1	1	6		
4	センター調査に関すること							12 5.3%
	対象	0	3	3	0	1	7	
	費用	1	1	0	0	0	2	
	手続き	0	0	0	1	1	2	
その他	0	0	0	1	0	1		
5	その他	4	20	10	15	8	57	57 25.2%
合計		51	60	47	40	28	226	226

※この集計は、2016年2月末までの相談内容を項目別に集計したもの。

※相談手段の大半は電話であるが、それ以外に「直接面談」・「文書」などが数件含まれる。

資料Ⅱ

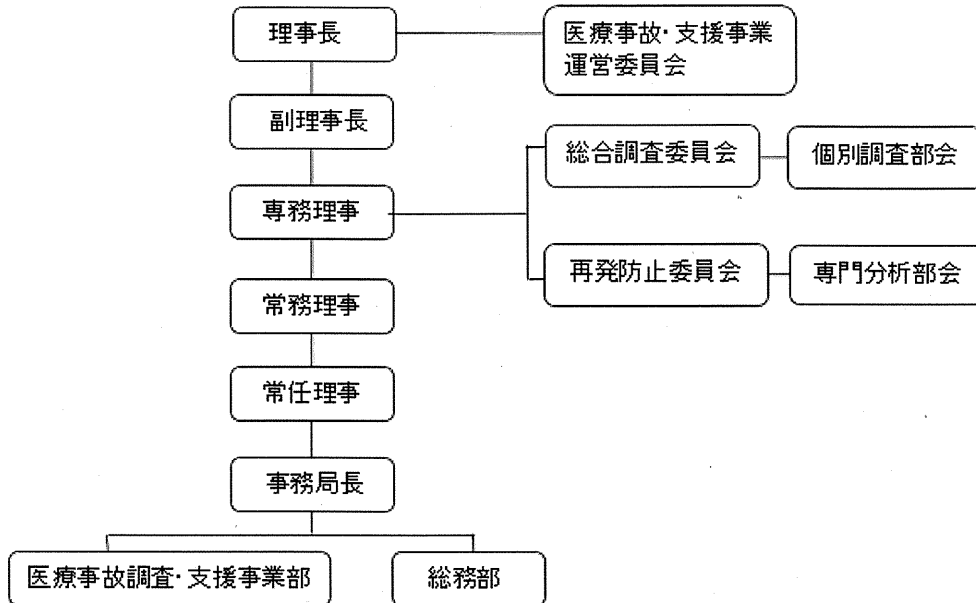
医療事故調査・支援センターの体制



## Ⅱ. 医療事故調査・支援センターの体制

### 1 医療事故調査・支援センターの組織体制等 (以下「センター」という。)

#### (1) センター組織図



#### (2) センター職種別職員数

職種	人数	勤務体制別	人数
医師	10名	常勤	2名
		嘱託	8名
事務	11名	常勤	8名
		非常勤	1名
		派遣	2名
看護師	25名	常勤	16名
		非常勤	9名

### (3) 医療安全に関する経験等

#### ●医師（嘱託を含む。）

- ・医療安全管理部所属
- ・診療行為に関連する死亡の調査分析モデル事業経験
- ・病院団体医療安全委員会担当
- ・医師会医療安全担当

#### ●看護師

- ・医療安全管理者講習会修了（18名）
- ・リスクマネージャー経験（2名）
- ・行政医療安全部署経験（2名）

## 2 データの管理体制

医療法第6条の15の規定に基づくセンターの指定を受け、第6条の16に規定する業務を遂行するにあたり、情報の管理を最重要事項と認識し、以下の対応を実施している。

### ① 環境整備

- ・執務室内に「医療事故報告」の管理のための「機密室」を設置
- ・執務室、機密室入室承認システムを設置
- ・執務室に監視カメラを設置
- ・報告書等を管理・分析するパソコンと外部交流用のパソコン、サーバーを分離
- ・web 報告の際に、トークン（ワンタイムパスワード）を利用

### ② 規程等の制定

- ・情報セキュリティポリシー、情報セキュリティ基本方針の制定
- ・情報管理及び守秘義務に関する規程の制定
- ・個人情報保護方針、個人情報保護規定の制定

### ③ 定期的な研修、監査の実施

- ・平成27年9月10日 職員研修実施
- ・平成28年4月 新入職員研修実施予定
- ・内部監査 5月予定



### 3 相談体制（夜間、休日等含む）

センターでは、「医療事故相談専用ダイヤル」を設け、医療機関等からの相談に対応している。医療事故調査制度が開始された平成 27 年 10 月 1 日より 24 時間体制で電話相談に応じている。（夜間・休日は医療機関からの緊急の相談に限り対応）

また、医療機関から医療事故の判断に関する相談があった場合には、下記（2）に記載している「センター合議」を行い対応している。

#### （1）医療事故相談専用ダイヤルについて

##### ① 対応時間および体制

- ・平日 8 時～20 時：センターにおいて受付班職員を中心に対応している。
- ・上記以外の時間帯：センター職員が 2 名体制で携帯電話により対応している。

##### ② 相談内容による分類

医療事故相談専用ダイヤルは相談内容により、以下の 3 種類に分類している。

- ・医療事故制度に関する相談、医療事故報告の手続き、調査依頼の手続き
- ・医療機関からの医療事故報告の判断に関する相談、緊急を要する相談
- ・その他、問い合わせ等

※夜間・休日は医療機関からの緊急を要する相談に限定して対応している。

##### ③ 相談対応に関する職員の教育・支援状況

- ・対応例を記載した相談対応マニュアルを作成し、回答内容の統一化
- ・制度について正しく説明できるよう、相談内容ごとに根拠法等を整理した資料の作成
- ・経験を重ねた職員からサポートが受けられる体制を整備し、確認しやすい環境づくり

#### （2）センター合議について

センター合議とは、センター報告が必要か否かの判断について、医療機関から具体的事例に関する助言を求められた場合に、センター内で複数の医療従事者による合議を行い、当該医療機関へ医療事故の判断に関する助言を行うものである。

##### ①センター合議の流れ

- ・医療機関へ「事例相談用紙」を FAX またはメールで送付し、当該事例の概要を記載して提出してもらう。
- ・合議の結果は、事例相談用紙が提出された翌日または翌々日を目安に電話にて連絡する。

##### ②センター合議の体制

- ・基本的な人員構成：センター医師 1 名、協力医師複数名、調査支援看護師 2～3 名
- ・協力医師が遠隔地の場合には、メール若しくは電話による参加も可能としている。

## 4 再発防止策を提案するための体制、方法論等

センターでは、再発防止策を提案するために「再発防止委員会」を設置している。再発防止委員会では、医療機関から報告された医療事故調査の報告により収集した事例を、匿名化・一般化し、データとして集積し、複数の医療機関において実施可能な再発防止策を検討する。また、それを広く普及啓発する方法についての検討を行う。

専門的見地から詳細な分析が必要な検討課題については、再発防止委員会の下に設置される「専門分析部会」によりテーマを設定し検討を行う。

- ・平成 28 年 2 月 3 日 第 1 回再発防止委員会開催
- ・次回は 5 月に開催予定

## 5 センター調査の実施体制

### (1) 調査体制

- ①「総合調査委員会」の下に、事例毎に「個別調査部会」を設置。
- ②「総合調査委員会」は、センター調査の方法を検討するとともに、各事例の調査を実施する「個別調査部会」の作成したセンター調査報告書案を審議し、報告書の質の担保を図ることを役割とし、原則月 1 回開催する。
- ③「個別調査部会」は、1 事例毎に 6～7 程度の事例に関係する専門家等で設置され、調査結果を報告書としてとりまとめることを役割とする。

### (2) 外部委員等の協力体制

センター調査の際に、学会から、当該事例に関する専門性を有した調査委員推薦協力体制を整備している。

- ① 現在登録学会
  - ・医学会系 40 学会
  - ・薬学系 1 学会
  - ・看護系 1 協議会 (12 学会)
  - ・その他 3 組織 (放射線技師会、臨床工学技士会、医療の質安全学会)
- ② 平成 27 年 12 月 14 日に登録学会向け説明会を開催し、協力内容、推薦方法等を説明した。



## 6 研修の実施内容等（実績と予定）

### （1）センターの職員向け研修

医療事故調査・支援センターでは、平成 27 年度の組織内研修として、事務局連絡会議およびトレーニングセミナーを開催した。

#### ①事務局連絡会議について

対象者：調査支援看護師、事務職員

研修時間：2 日間（計 10 時間）

実施日：平成 27 年 9 月 10・11 日

#### 【研修内容】

- ・医療事故調査・支援センターについて（全体・総務・地域ブロック）
- ・情報セキュリティについて
- ・センター業務開始への準備状況の報告
- ・医療機関・遺族からの様々な相談に対する対応（ロールプレイ）

#### ②トレーニングセミナーについて

対象者：調査支援医、調査支援看護師、事務職員

研修時間：1 日間（計 4 時間）

実施日：平成 28 年 2 月 20 日

#### 【研修内容】

- ・医療事故調査・支援センターの現状
- ・センター調査の実施に向けて
- ・センター調査の進め方（グループワーク）

### （2）医療機関向けの職員向け研修

医療機関において医療事故調査に関わる方を対象として、科学的・論理的・専門性を伴った事故調査を行うことができるような研修の実施を日本医師会に委託した。

### （3）支援団体の職員向け研修

医療機関が医療事故調査を行う際の専門的な支援に必要な知識等を学ぶ研修の実施を日本医師会に委託した。

## 7 普及啓発

医療事故調査制度の概要、及び、医療事故調査・支援センターに関する周知については、以下の方法で広報を実施している。

- ・ホームページの管理
- ・リーフレットの配布
- ・プレスリリース（月毎）の発行
- ・講演等による説明

資料Ⅲ①

医療事故調査等支援団体向け研修会 アンケート  
平成28年1月16日(土)～17日(日)



**医療事故調査等支援団体向け研修会**  
プログラム

【1日目】 平成28年1月16日（土）13:00～18:00

13:00～13:10	開講挨拶 横倉 義武（日本医師会 会長）
講 演 座長：平松 恵一（日医医療安全対策委員会委員長・広島県医師会会長）	
13:10～13:30	① 医療事故調査制度の概要について【20分】 講師 平子 哲夫（厚生労働省 医政局 総務課 医療安全推進室長）
13:30～13:50	② 医療事故調査・支援センターの役割【20分】 講師 木村 壯介（日本医療安全調査機構 常務理事）
13:50～14:10	③ 医療事故調査制度の概略と狙い【20分】 講師 小林 弘幸（日医医療安全対策委員会委員・東京都医師会理事）
14:10～14:50	④ 支援団体の調査支援の流れ【40分】 講師 上野 道雄（日医医療安全対策委員会副委員長・福岡県医師会副会長）
14:50～15:00	休憩
演 習	
15:00～15:10	自己紹介と役割確認
15:10～15:30	相談対応【20分】 講師 今村 定臣（日本医師会 常任理事）
15:30～15:50	初期対応【20分】 講師 上野 道雄
15:50～16:05	聞き取りの注意事項【15分】 講師 上野 道雄
16:05～16:30	聞き取りの実演 DVD（10分） 講師 小池 明広（福岡東医療センター 循環器内科医長） 講師 馬場 文子（福岡東医療センター 医療安全管理係長） 聞き取りの体験者の声（10分） 聞き取りのまとめ（5分）
16:30～16:50	休憩
16:50～17:45	論点整理【55分】 講師 上野 道雄（30分）／小池 明広／馬場 文子 青木 久恵（福岡女学院看護大学 講師） 個人ワーク（10分） グループワーク（20分）
17:45～18:00	翌日の研修内容説明【15分】

【2日目】 平成28年1月17日（日）9：00～16：00

9:00～10:00	<p>論点整理の発表、解説【60分】</p> <p>講師 上野 道雄／小池 明広／馬場 文子／青木 久恵</p> <p>グループワーク（20分）</p> <p>発表（2グループ）（20分）</p> <p>解説 上野 道雄（20分）</p>
<b>院内事故調査委員会</b>	
座長：上野 道雄／小林 弘幸	
10:00～10:20	説明：院内事故調査委員会の主旨、手順の説明【20分】
10:20～11:20	<p>演習：調査委員会の実施【60分】</p> <p>講師 小池 明広／馬場 文子／青木 久恵</p>
11:20～11:50	討議：院内事故調査委員会の反省【30分】
11:50～12:50	昼食休憩
<b>報告書作成</b>	
座長：上野 道雄／小林 弘幸	
12:50～13:10	説明：報告書の作成の注意事項【20分】
13:10～14:10	<p>演習：報告書の作成、提出【60分】</p> <p>講師 小池 明広／馬場 文子／青木 久恵</p>
14:10～14:30	討議：報告書作成に際しての疑問【20分】
14:30～14:50	休憩
14:50～15:10	<p>遺族への説明【20分】</p> <p>講師 上野 道雄</p>
15:10～15:50	<p>講評と反省会【40分】</p> <p>座長：上野 道雄／小林 弘幸</p>
15:50～16:00	閉講

## 医療事故調査等支援団体向け研修会 アンケート

本日は、研修会にご参加いただきましてありがとうございます。事務局では、今後の「研修会」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付の回収箱に投入して下さい。

(Q1) 本研修会のそれぞれの講義・演習の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

1 日目	講義名	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
	法令解説	4	3	2	1
	医療事故調査・支援センターの役割	4	3	2	1
	医療事故調査制度のねらいと概略	4	3	2	1
	支援団体の調査支援の流れ	4	3	2	1
	相談対応	4	3	2	1
	初期対応	4	3	2	1
	聞き取りの注意事項	4	3	2	1
	聞き取りの実演 DVD	4	3	2	1
	論点整理	4	3	2	1
2 日目	講義名	理解できた	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
	論点整理の発表、解説	4	3	2	1
	院内事故調査委員会	4	3	2	1
	報告書作成	4	3	2	1
	遺族への説明	4	3	2	1
	講評と反省会	4	3	2	1

(Q2) 医療事故調査制度の支援団体として活動するにあたり、日頃お悩みのこと、困っていることがありましたら、お聞かせください。

裏面に続きます↓

(Q3) 本研修会のそれぞれの講義・演習の有用度についておたずねします。今後の支援団体の活動にどの程度役立つと思われますか。下記の番号であてはまるものに○をつけて下さい。

1 日目 講義名	役立つ	まあまあ役立つ	あまり役立たない	役に立たない
	法令解説	4	3	2
医療事故調査・支援センターの役割	4	3	2	1
医療事故調査制度のねらいと概略	4	3	2	1
支援団体の調査支援の流れ	4	3	2	1
相談対応	4	3	2	1
初期対応	4	3	2	1
聞き取りの注意事項	4	3	2	1
聞き取りの実演 DVD	4	3	2	1
論点整理	4	3	2	1
2 日目 講義名	役立つ	まあまあ役立つ	あまり役立たない	役に立たない
論点整理の発表、解説	4	3	2	1
院内事故調査委員会	4	3	2	1
報告書作成	4	3	2	1
遺族への説明	4	3	2	1
講評と反省会	4	3	2	1

(Q4) 2日間の講義の進行・運営等について、ご意見がありましたら、お聞かせください。



(Q5) 今後の研修に取り入れてほしいことがありましたら、お聞かせください。

(Q6) 本研修は第1回目の開催でありました。演習企画は初めての試みでしたので、いろいろな不備な点があったかと思えます。どうぞ、建設的なご意見がありましたら、ご助言よろしく願いいたします。(聞き取りDVD・論点整理・院内事故調査委員会・報告書)

\*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、平成27年度厚生労働科学特別研究事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただく場合があります。研究の結果は、医療事故調査制度の見直しのための資料となることが予定されております。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

